

# 小野田超速硬グラウト材 (PFG-01)

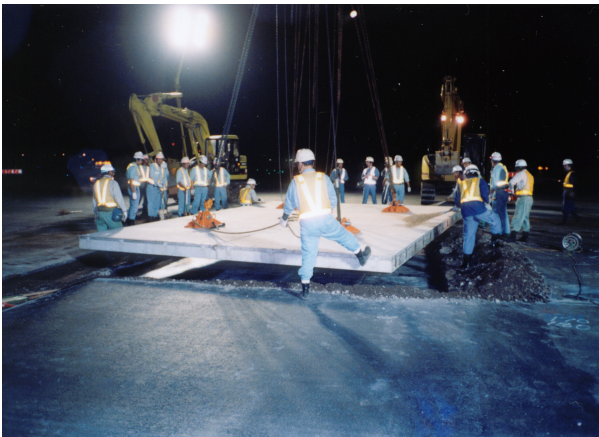
## 特 長

小野田超速硬グラウト材(PFG-01)は、流動性に優れ短時間に強度を発現するプレミックスタイプの超速硬グラウトでプレキャスト版の不陸調整材や目地材に適用できます。

- 1) 現場で容易に、高性能超速硬グラウトができあがります。
- 2) 流動性にすぐれています。
- 3) ブリージング等の分離を生じません。
- 4) 注入後短時間で高強度が得られます。
- 5) 長期にわたり安定した強度が確保される高強度グラウトです。

## 用 途

- ・ プレキャスト版の目地材、プレキャスト版の裏込材
- ・ 不陸調整材



空港滑走路 PC版施工状況



PC版目地材充填状況



空港滑走路 誘導灯改修

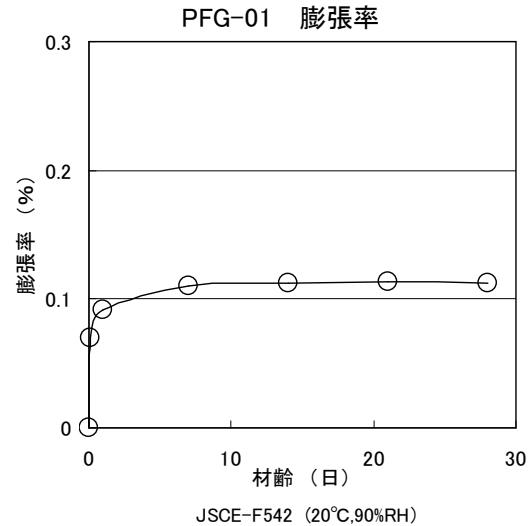
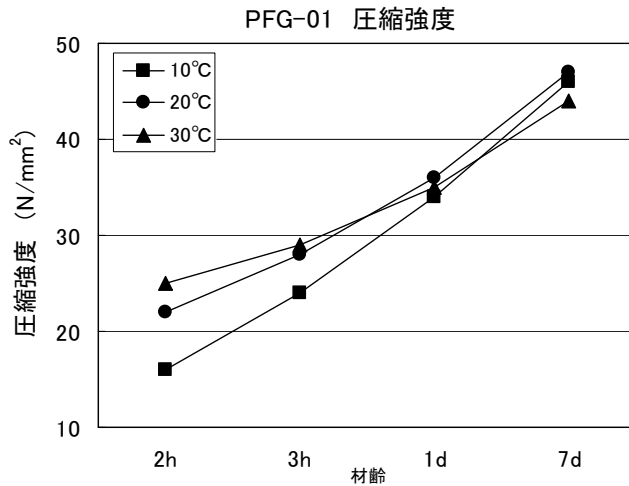


PFG-01 充填状況

## 性能

温度 (°C)	W/M (%)	J <sub>14</sub> ロート フロー値 (秒)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )				
			2時間	3時間	6時間	1日	7日
20	17~19	6.9	23	29	33	37	48

(注) 上記の数字は、実験室データ例です。



## 使用方法

- ① PFG-01 1袋当たり、3.4~3.8ℓの標準練り水量※の範囲でご使用ください。
- ② 1袋当たりの練り上がり量は、約11ℓとなります (1m<sup>3</sup>≒91袋)。
- ③ 練り混ぜには、ハンドミキサ(1000rpm以上の能力)をご使用ください。
- ④ 作業性の確保のため、凝結遅延剤ジェットセッターWの添加量\*\*を調整します。

※ フロー値(J<sub>14</sub>ロート)が6~10秒になるように水量を決めてください。

所定の水量以上で練り混ぜた場合、材料分離や強度不良の原因となります。但し、気温・材料温度・水温等の影響を受け水量は若干変動します。

ジェットセッターWの添加例 (ハントリングタイム 10min)

環境温度	10°C ~ 20°C ~ 30°C
使用量(/袋)	約20ml ~ 約45ml ~ 約70ml

\*\*※ ジェットセッターWは予め練り水に所定量加えて使用します。

## 荷姿

小野田超速硬グラウト材 (PFG-01) 20kg/袋

※ 専用の凝結遅延剤ジェットセッターWが必要です。

(使用する量は、外気温度、施工条件により変わりますのでお問い合わせ願います。)

(PFG-01、1袋につき20~70cc程度使用します。)

小野田超速硬グラウト PFG-01 の取り扱い注意事項

- 目や皮膚への接触を避けるため、適切な保護具(手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用し、換気に注意して下さい。
- 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。
- 使用前に当製品の安全データシート(SDS)をお読み下さい。



 小野田ケミコ株式会社

〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-20-18  
第8菊星タワービル5F  
TEL:03-5823-0633 FAX:03-5823-0636  
URL: <http://www.chemico.co.jp/>



商品情報はここから